

# 宇宙産業高度化基盤技術プログラム

～ 我が国宇宙産業の国際競争力強化 ～

16FY (うち運営費交付金) 15FY (うち運営費交付金)

112.0億円(75.0億円) 115.4億円(36.4億円)

目的	大きな技術波及効果を有し、国民の安全にも密接に関わるだけでなく、高度情報化社会の実現、地球環境の保全等多様な社会ニーズに応える基盤となる宇宙産業の国際競争力の強化を図る。
目標・効果	我が国宇宙産業の国際競争力強化に向け、次世代の宇宙機器開発に向けた基盤技術（衛星の軽量化・長寿命化技術、民生部品の宇宙転用技術、高度センサ技術、ロケット設計合理化技術等）及び宇宙利用を促進するための基盤技術（無人宇宙実験技術、衛星画像データ処理・解析技術等）を確立する。これにより、我が国における宇宙開発利用の産業化を促進し、中長期的に拡大が見込まれている（2001年：9.9兆円 2005年：14.2兆円）世界の宇宙産業において、我が国宇宙産業の規模拡大を図る。

## 施策パッケージのポイント

### 【主要プロジェクト】

#### 衛星系産業競争力向上基盤技術開発

##### 次世代衛星基盤技術開発プロジェクト（'03～'07）

国際市場における我が国衛星メーカーの競争力強化を図るため、次世代の衛星技術として期待されている準天頂衛星システムの構築に必要な基盤技術（産業競争力強化にも直結する衛星の軽量化・長寿命化技術等）やエネルギー密度が極めて高い衛星搭載用リチウムイオンバッテリーの開発を行う。

16FY（15FY）

21.0億円（18.9億円）

##### S E R V I S プロジェクト（'99～'07）

衛星製造等の低コスト化、短納期化、高機能化を実現するため、衛星への転用の可能性を有する民生用電子部品を選定するための地上試験を行い、試験データを知的基盤（データベース・ガイドライン等）として整備するとともに、選定された民生部品の耐環境性能を宇宙環境で実証する。

16FY（15FY）

27.8億円（31.0億円）

##### A S T E R ・ P A L S A R プロジェクト（ASTER：'87～'04，PALSAR：'93～'09）

資源探査の能力を格段に向上した光学センサ（ASTER）及び合成開口レーダ（PALSAR）を開発する。

16FY（15FY）

1.0億円（1.1億円）

#### 輸送系産業競争力向上基盤技術開発

##### 次世代輸送系システム設計基盤技術開発プロジェクト（'01～'05）

国際ロケット市場における我が国宇宙産業の競争力確保を図るため、ロケットを効率的に開発・運用し、ロケットの開発や受注から打上までの期間を大幅に短縮するための基盤技術や、低コストで環境に優しい液化天然ガス（LNG）を活用したエンジンを備えたロケットシステムを制御する機器開発に資する基盤技術の開発を行う。

16FY（15FY）

33.5億円（23.7億円）

#### 宇宙利用促進基盤技術開発

##### U S E R S プロジェクト（'95～'04）

宇宙実験の低コスト化を図ることが可能となる次世代型無人宇宙実験システム（USERS）を開発するとともに、微小重力下で大型超電導材料の結晶成長実験を行い、同材料の地上における製造技術に関する知見を得る。

16FY（15FY）

6.5億円（17.9億円）

##### 石油資源遠隔探知技術の研究開発（'81～'09）

資源探査の能力を格段に向上した光学センサ（ASTER）及び合成開口レーダ（PALSAR）を用いて取得した衛星画像データ処理・解析技術の開発を行う。

16FY（15FY）

22.2億円（22.8億円）

## 政策上の活用等のポイント

### （研究開発成果の政策上の活用）

プロジェクトを通じて得られた基盤技術、データ（宇宙利用可能民生部品データベース、リモートセンシングデータ等）等について、成果報告会、データベースの一般公開、画像データの一般提供等により、可能な限り速やかに社会に普及し、民間主導による実用化、新技術への応用を促進する。

### （政策目標の実現に向けた環境整備）

- 産業化を促進するための環境整備（政府による国産ロケットの優先使用等）に向けた関係府省及機関との連携
- 関係府省、機関及び企業をメンバーとする連絡会議を活用した産業化関連プロジェクトの推進